

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-225432(P2003-225432A)  
 【公開日】平成15年8月12日(2003.8.12)  
 【出願番号】特願2002-24580(P2002-24580)  
 【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月14日(2005.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技により払出条件が成立したことにもついで景品としての景品遊技媒体を払い出す遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記景品遊技媒体の払い出しを行う払出手段と、

前記払出手段を制御する払出制御手段と、

前記払出手段により払い出された景品遊技媒体を検出する景品遊技媒体検出手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記払出条件の成立にもついで前記払出制御手段に対して景品遊技媒体の払出数を指定する払出数指令信号および当該景品遊技媒体の払出要求を行う払出要求信号を継続的に出力し、

前記払出制御手段は、

前記払出要求信号が入力されたことにもついで、前記払出数指令信号により指定された払出数分の動作量を設定し、該動作量の払出動作を前記払出手段に行わせる払出処理を実行し、

前記景品遊技媒体検出手段からの検出信号は、前記遊技制御手段に入力され、

前記遊技制御手段は、

前記景品遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して前記払出数指令信号が示す払出数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定する払出数判定手段と、

該払出数判定手段により前記払出数指令信号により指定した払出数の景品遊技媒体が払い出されたと判定されたときに前記払出要求信号の出力を停止する払出要求信号停止手段とを含み、

前記払出制御手段は、

前記払出要求信号にもつづく景品遊技媒体の払出処理が終了したあと所定期間が経過しても前記払出要求信号の出力状態が変化せず継続して出力状態が維持されているときに、当該払出処理による景品遊技媒体の払出数が前記払出数指令信号により指定された払出数に対して不足していると判定する払出数不足判定手段と、

該払出数不足判定手段により払出数が不足していると判定されたときに、前記払出要求信号の出力状態が停止状態となるまで、1つずつの景品遊技媒体の払出処理を繰り返し実行する不足払出処理制御手段と、

前記払出手段が設定された動作量の払出動作を開始したあと該払出動作を停止するまでの間に、前記払出要求信号の出力状態を監視する払出要求信号監視手段と、

前記払出要求信号監視手段により前記払出要求信号の出力が停止状態となったことが確認されたときに、景品遊技媒体の払出処理を禁止する払出禁止状態に設定する処理を行う払出禁止状態設定手段とを含む

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明による遊技機は、遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能であり、遊技により払出条件（例えば、遊技領域に設けられた入賞領域への入賞があったときに成立する条件、スロットマシンにおいて予め定められた所定の表示態様での表示が表示装置になされたときに成立する条件）が成立したことにともづいて景品としての景品遊技媒体を払い出す遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、CPU56を含む遊技制御手段、図45に示す遊技制御手段561）と、景品遊技媒体の払い出しを行う払出手段（例えば球払出装置97）と、払出手段を制御する払出制御手段（例えば、払出制御用CPU371を含む払出制御手段、図45に示す払出制御手段371a）と、払出手段により払い出された景品遊技媒体を検出する景品遊技媒体検出手段（例えば賞球カウンスイッチ301A、図45に示す景品遊技媒体検出手段501）とを備え、遊技制御手段は、払出条件の成立にもとづいて払出制御手段に対して景品遊技媒体の払出数を指定する払出数指令信号（例えば払出個数信号）および当該景品遊技媒体の払出要求を行う払出要求信号（例えばREQ信号）を継続的に出力し（例えばステップS194およびステップS195）、払出制御手段は、払出要求信号が入力されたことにともづいて、払出数指令信号により指定された払出数分の動作量を設定し、該動作量の払出動作を払出手段に行わせる払出処理（例えば図37および図38に示す賞球制御処理、図45に示すステップS757aの払出処理）を実行し、景品遊技媒体検出手段からの検出信号は、遊技制御手段に入力され、遊技制御手段は、景品遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して払出数指令信号が示す払出数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定（例えばステップS391）する払出数判定手段（例えば、CPU56を含む遊技制御手段、図45に示す払出数判定手段562）と、払出数判定手段により払出数指令信号により指定した払出数の景品遊技媒体が払い出されたと判定されたときに払出要求信号の出力を停止（例えばステップS392およびステップS393）する払出要求信号停止手段（例えば、CPU56を含む遊技制御手段、図45に示す払出指令信号停止手段563）とを含み、払出制御手段は、払出要求信号にもとづく景品遊技媒体の払出処理が終了したあと所定期間（例えば賞球通過待ち時間が終了するまでの期間）が経過しても払出要求信号（例えばREQ信号）の出力状態が変化せず継続して出力状態が維持されているとき（例えばステップS547のY）に、当該払出処理による景品遊技媒体の払出数が払出数指令信号（例えば払出個数信号）により指定された払出数に対して不足していると判定する払出数不足判定手段（例えば、払出制御用CPU371を含む払出制御手段、図45に示す払出数不足判定手段371b）と、払出数不足判定手段により払出数が不足していると判定されたときに、払出要求信号の出力状態が停止状態となるまで、1つずつの景品遊技媒体の払出処理（例えばステップS548以降の処理、図45に示すステップS757bの払出処理）を繰り返し実行する不足払出処理制御手段（例えば、払出制御用CPU371を含む払出制

御手段、図45に示す不足払出処理制御手段371c)と、払出手段が設定された動作量の払出動作を開始したあと該払出動作を停止するまでの間に、払出要求信号の出力状態を監視する払出要求信号監視手段と、払出要求信号監視手段により払出要求信号の出力が停止状態となったことが確認されたときに、景品遊技媒体の払出処理を禁止する払出禁止状態に設定する処理を行う払出禁止状態設定手段とを含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0294

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0294】

【発明の効果】

以上のように、請求項1記載の発明によれば、遊技制御手段が、払出条件の成立にもとづいて払出制御手段に対して景品遊技媒体の払出数を指定する払出数指令信号および当該景品遊技媒体の払出要求を行う払出要求信号を継続的に出力し、払出制御手段は、払出要求信号が入力されたことにもとづいて、払出数指令信号により指定された払出数分の動作量を設定し、該動作量の払出動作を払出手段に行わせる払出処理を実行し、景品遊技媒体検出手段からの検出信号は、遊技制御手段に入力され、遊技制御手段は、景品遊技媒体検出手段からの検出信号の入力状態を監視して払出数指令信号が示す払出数の景品遊技媒体が払い出されたか否かを判定する払出数判定手段と、払出数判定手段により払出数指令信号により指定した払出数の景品遊技媒体が払い出されたと判定されたときに払出要求信号の出力を停止する払出要求信号停止手段とを含み、払出制御手段は、払出要求信号にもとづく景品遊技媒体の払出処理が終了したあと所定期間が経過しても払出要求信号の出力状態が変化せず継続して出力状態が維持されているときに、当該払出処理による景品遊技媒体の払出数が払出数指令信号により指定された払出数に対して不足していると判定する払出数不足判定手段と、払出数不足判定手段により払出数が不足していると判定されたときに、払出要求信号の出力状態が停止状態となるまで、1つずつの景品遊技媒体の払出処理を繰り返し実行する不足払出処理制御手段と、払出手段が設定された動作量の払出動作を開始したあと該払出動作を停止するまでの間に、払出要求信号の出力状態を監視する払出要求信号監視手段と、払出要求信号監視手段により払出要求信号の出力が停止状態となったことが確認されたときに、景品遊技媒体の払出処理を禁止する払出禁止状態に設定する処理を行う払出禁止状態設定手段とを含むことを特徴とするので、遊技制御手段と払出制御手段との間の払出数に関わる認識誤差が生じる可能性が低減されるとともに、不足時の信号を別途送信する必要がないので制御負担が軽減されるという効果を有する。